

## オランダ自転車市況-2017

### 1. 販売・生産動向

RAI Vereniging(オランダ車両工業会、以下 RAI)、BOVAG(オランダ自動車自転車商業組合)によると、オランダの自転車販売台数は、2015年に100万台の大台を割り込み、それ以来低迷しているが、2017年の自転車販売台数は前年比3.1%増の95.7万台となり、3年ぶりに増加に転じた。

また、自転車販売金額については、2017年は前年比4.2%増の9億7,603万ユーロ(1,288億3,596万円)となり、ここ5年間増加を続けている。販売台数が不振な中でも販売金額が年々上昇をしてきた要因は、様々な車種の中で特に販売価格の高い電動アシスト自転車(EPAC)の販売が順調であったためである。

表1: 自転車販売台数及び金額の推移

年	2013	2014	2015	2016	2017
販売台数(万台)	100.8	105.1	98.3	92.8	95.7
販売金額(万ユーロ)	79,726	88,661	89,902	93,683	97,603

平均販売価格については、上述のEPAC販売好調により、2017年は自転車販売業全体では前年比1.0%高の1,020ユーロ(134,640円)と堅調であった。従来から高額商品の取り扱いが多い自転車小売専門店は、同比0.5%安の1,086ユーロ(143,352円)とごく僅かに値下がりしたが、平均販売価格は1,000ユーロを超える金額を維持している。なお、2017年のEPACを除く一般自転車の平均販売価格は608ユーロ(80,256円)、EPACの平均販売価格は1,948ユーロ(257,136円)であった。

表2: 平均販売価格の推移 (単位:ユーロ)

年	2013	2014	2015	2016	2017
平均価格(全体)	791	844	914	1010	1020
平均価格(自転車小売専門店)	989	974	1058	1091	1086

同国の自転車生産台数については、2009年の120万台をピークに年々減少を続け、その後、100万台を割り込む不振が続いている。2017年は前年比3.2%増の80万台と若干の増加に転じている。ここ数年、オランダ自転車市場は一般自転車の不振を、好調なEPACでカバーする図式となってきたが、2017年は生産・販売台数共に前年より増加し、自転車市場全般が復調の兆しをみせたとRAIは述べている。

表 3: 自転車生産台数の推移 (単位:万台)

年	2013	2014	2015	2016	2017
生産台数	85	85	85.5	77.5	80

## 2. 業態別、価格帯別販売動向

業態別売上台数比率は、「自転車小売専門店」は前年より 3 ポイント増加し 79%となった。それにより、ディスカウントストアやインターネット販売を含む「量販店、スーパーなど」は前年より 3 ポイント減の 21%となった。2000 年代初めから長らく 75%前後の売上台数比率を維持してきた自転車小売専門店の比率は年々減少傾向となり、一時は 7 割を切るまでに落ち込んだが、2014 年以降は再び 7 割を回復し、さらに 2017 年は 8 割に迫るまでとなった。

オランダの消費者は、品質やサービスを重視して自転車小売専門店で購入を希望する傾向が強い。特に高額商品である EPAC 購入の場合、主に量販等が扱う廉価車よりも、専門店が扱う高品質のブランド車が好まれるため、EPAC の販売が年々増加するのに伴い、自転車小売専門店の売上台数比率も回復してきたとみられる。

表 4: 業態別売上台数比率の推移

販売形態	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年
自転車小売専門店	68%	71%	70%	76%	79%
量販店、スーパーなど	32%	29%	30%	24%	21%

価格帯別売上台数比率は、300 ユーロ (39,600 円) 以下の最も低い価格帯は前年同様 11%にとどまり、ここ 5 年間では減少を続けている。一方、それに次ぐ低価格帯 301~499 ユーロ (39,732~65,868 円) は前年より 3 ポイント増の 19%となった。中価格帯の 500~699 ユーロ (66,000~92,268 円) は 1 ポイント減の 21%で、ここ数年は横ばい状態である。中・高価格帯 700~899 ユーロ (92,400~118,668 円) は、2 ポイント減の 13%と 3 年続けて減少となった。一方、最高価格帯 900 ユーロ (118,800 円) 以上は、1 ポイント増の 36%と 3 年続けて増加し、最多売上台数比率を維持し、全体の 3 分の 1 超を占めるまでとなった。最高価格帯の比率が上昇を続ける理由は、やはり価格の高い EPAC 販売増加にあると考えられる。

表 5: 価格帯別売上台数比率の推移

価格帯(EURO)	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年
300以下	18%	14%	12%	11%	11%
301~499	15%	17%	17%	16%	19%
500~699	21%	22%	21%	22%	21%
700~899	18%	20%	16%	15%	13%
900以上	30%	27%	33%	35%	36%

## 3. 車種別販売動向

車種別売上比率については、かつては過半数を占めたシティ車(ダッチバイク)を含む一般用自転車は、2017年には前年より1ポイント減少し42%となったものの、オランダでいまだに人気の最多比率の車種である。ハイブリッド車(クロスバイク等)は前年より1ポイント減の5%、子供車は前年同様の12%、さらにロードバイクやMTB等のスポーツ車を含む「その他」も前年同様の10%となり、これらの車種は増減を繰り返しながらもほぼ横ばいとなっている。そのような中で、電動アシスト自転車(EPAC)は前年より2ポイント増の31%となり、年々比率は上昇を続け、2017年は全体の3割に達した。

表 6: 車種別売上比率の推移

車種	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
一般用自転車	50%	51%	42%	43%	42%
ハイブリッド車	8%	7%	5%	6%	5%
子供車	13%	12%	14%	12%	12%
電動アシスト自転車	17%	21%	28%	29%	31%
その他 ※	10%	9%	11%	10%	10%

※その他には MTB/ATB、ロードレーサー及び折りたたみ車が含まれる

なお、2017年のEPAC販売台数については、昨年2016年に僅かではあるが販売台数が減少したため、同国市場のEPAC販売の伸びはいよいよピークに達したかと思われたが、2017年は前年比8.5%増の29.4万台と再び増加に転じており、RAIではEPAC販売はこれからも堅調に推移するとみている。

表 7: 電動アシスト自転車販売台数の推移 (単位:万台)

年	2013	2014	2015	2016	2017
電動アシスト車販売台数	19.2	22.1	27.5	27.1	29.4

#### 4. Speed Pedelecs

EPACはモーター出力250Wまで、ペダル補助は速度25km/hまでと定められているが、EPACよりもモーター出力と補助速度が高いSpeed Pedelecsについて、RAIは2015年より販売台数を公表している。2017年の同車種の販売台数は前年比27.9%増の4,572台と大きな伸びを見せた。電動自転車全体の販売の大半はEPACが占めており、Speed Pedelecsの割合は僅か1.5%程であるが、オランダ市場を見る上で同車種の販売台数の推移も注目したい。

参考 1: Speed Pedelecs 販売台数の推移 (単位:台)

年	2015	2016	2017
Speed Pedelecs 販売台数	3539	3576	4572

なお、Speed Pedelecsの販売上位5ブランドを見ると、自国の有力ブランドのカゼレ(PON)、

スパルタ(アクセル)等とともに、スイスのストーマーやドイツのリーゼ&ミュラー等の他国ブランドも上位を占めており、オランダ消費者の人気を得ている点は興味深い。

参考 2: Speed Pedelecs 販売上位 5 ブランドの推移 (単位:台)

年	2015		2016		2017	
	ブランド	販売台数	ブランド	販売台数	ブランド	販売台数
1	スパルタ	1393	リーゼ&ミュラー	823	ストーマー	1842
2	リーゼ&ミュラー	903	ストーマー	712	リーゼ&ミュラー	779
3	ストーマー	472	スパルタ	662	カゼレ	462
4	カゼレ	128	ガゼレ	518	スパルタ	414
5	カルクホフ	119	アクセル(バタバス)	125	DUTCH ID	128



リーゼ&ミュラー



ストーマー

以上

統計出所 : RAI Vereniging /BOVAG

写真 : EUROBIKE2017 にて筆者撮影